



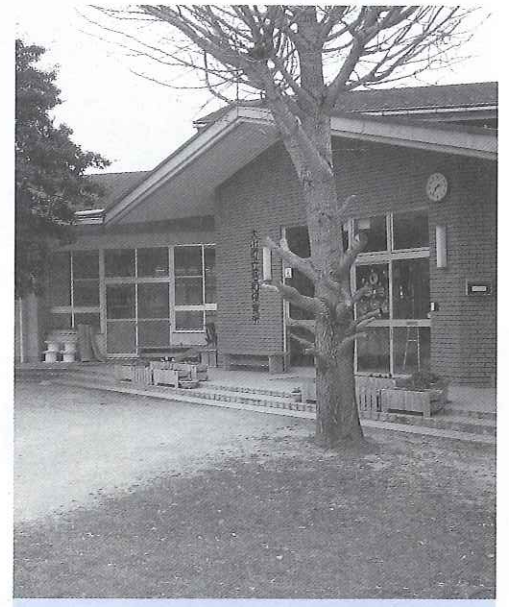
米本 隆詞 議員

# 交付税が減少するが？

## 町長 行財政改革を進める

事業の見直しや「選択と集中」による行財政運営を推進する必要がある。質の改善・透明性の確保など、過去の方法にとらわれることなく、事務や事業の見直し・コスト削減・外部委託などで行財政改革を進める。

【米本】本町は自主財源も少なく、合併特例債などの交付税措置が減少すると、今までの事業はできないばかりか、その返済が重くのしかかる。  
平成26年度予算編成は、どのような考えでのぞむのか。  
【町長】大幅な税収増が見込めないなか、平成27年度から普通交付税が減少し、ますますきびしい状況となる。



地区会議が利用予定の名和保育所

# 老朽化した施設は？

## 町長 撤去も考える

【米本】合併前に建設した施設は、老朽化が進んでいる。保育所の統合も進み、体育施設などと合わせ、空き施設の維持管理費が今後ますます重くのしかかってくる。  
今から先を見すえた施設の管理計画が必要ではないか。

【町長】老朽化した施設は全国的に問題となっている。廃園した保育所は活用も必要だが、多額の修理費が必要となれば、ほかの町有施設の利用を検討し、古い施設は撤去を考える。体育施設は、早めの点検で維持管理に努め、利用者の意見を聞き今後のあり方を検討する。

# 公民館機能の配置は？

## 町長 教育委員会と相談する

【町長】文化的な活動や仲間づくりは公民館機能と重なる部分もあり、連携をして事業を行うこともある。  
お互いに連携や補完できるところは、積極的に進められることを期待し、役割や運営方法なども、合理的で効果的な方法を見出したい。  
空き施設を利用しての公民館機能は、教育委員会とも相談して検討する。



行政と連携する自主組織(高麗地区)



大森 正治 議員

# 滞納と行政サービスの関係は？

## 町長 権利と義務で成立する

【大森】滞納対策は、滞納者の生活実態を見極めたうえで、信頼関係を築きながら行うことが重要である。  
町税などの滞納者の状況は。  
【町長】滞納者は約600人で、そのうち100人と話ができない。  
【大森】滞納と行政サービスの関係は。  
【町長】権利と義務によって行政サービスは成立する。

【大森】1000人のうち40人が「悪質滞納者」と言える。この人たちが行政サービスを制限する条例で、効果があまるのか。懲罰的なのやり方ではないのか。  
【町長】行政サービスの制限が目的ではない。条例を通じて、住民に完納を呼びかけ、町あげて滞納防止していくことが主目的である。町の取り組み姿勢を示す。

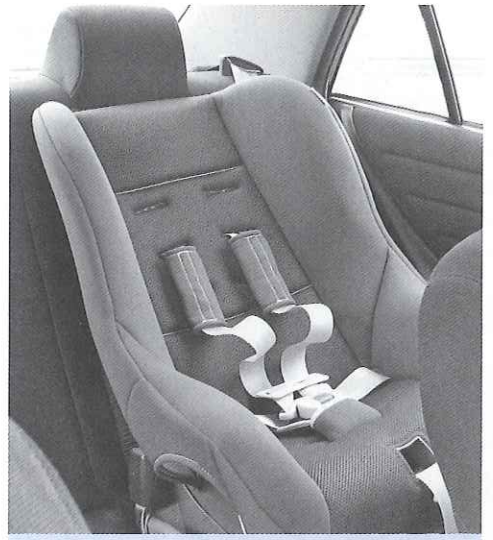
【大森】平成22年度末から始めた個人用住宅等改善助成制度は、投入した税金の10倍の経済効果があり、町民に好評である。  
業者組合や商工会からも継続の要望が出ている。  
平成25年度末で中止する理由は。  
【町長】3年弱経過した現時点で、交付決定の件数1900件・額1億1500万円、対象事業費は、11億7000万円にもなり、本制度が町の経済活動に相当の役割を果たした。  
2年期限のところ、1年延長した。成果も

# 住宅リフォーム助成の継続は？

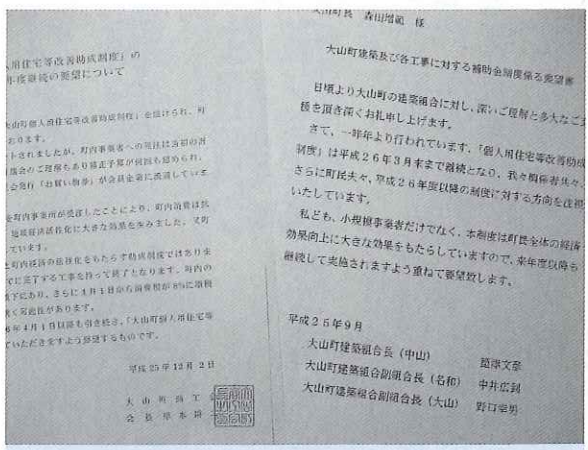
## 町長 成果もあるが区切りをつける

大きかったが、問題点も顕在化してきた。実施に度区切りをつけた。  
今後、助成条件など検証し、見直したうえで実施する必要性を感じている。

【大森】事業費の下限5万円を3万円に下げるとか、制度を周知徹底するなどの改善が必要と思うがどうか。  
【町長】指摘を参考にし、今後、生かしていく。



チャイルドシート購入の補助にも制限が



業者・商工会からの要望書





野口 昌作 議員

# 減反廃止と農業政策は？

## 町長 所得向上に取り組む

【野口昌】 減反廃止後の水田経営をどう考えるか。

【町長】 担い手への農地集積が進み、生産コストの削減がはかられると考えている。

【野口昌】 飼料用米の助成拡充を農業経営の安定化にどうつなげていくか。

【町長】 飼料用米は、平成25年は69haの作付けがあった。産地交付金など活用して作付拡大を検討する。

【野口昌】 農業者・認定農業者・集落営農・農業法人への指導方針は。

業者161人、集落営農31団体、農業法人15法人である。経営基盤強化の促進に関する基本的な構想を定めていて、普及所・農協などと連携して取り組んでいる。

【野口昌】 農業発展をうながす新しい助成制度の考えは。

【町長】 がんばる農家プラン・耕作放棄地再生・次世代農業梨ブランド創出などの事業に取り組んでいる。今後も担い手確保のための親元就農支援・循環型森林資源活用計画の具体化など進めたい。



減らしたい耕作放棄地

# 健康寿命を延ばす施策は？

## 町長 検討課題として取り組む



岡田 聡 議員

【岡田】 高齢化が進むにつれて、要介護認定率の上昇が懸念される。社会保障制度改革への対応や健康寿命を延ばす施策が重要である。要介護認定率の推移は。

【町長】 平成21・22年度は0.3%、平成22・23年度は0.7%で40人ずつ増加している。

【岡田】 予防事業二次の評価は。

【町長】 二次予防事業は委託先で6カ月ごとに評価し、次回につなげている。



やすらぎの里での「元気アップ教室」

【岡田】 運動を継続して行っている人の健康寿命は長いという調査結果だが、運動習慣をうながす施策にさらに力を入れてはどうか。

【町長】 介護・保健事業および社会体育事業など、総合的に判断しながら検討したい。

【岡田】 茨城県利根町のように、リハビリ体操の指導者に多くのボランティアを活用してはどうか。

【町長】 積極的に取り組めればと考えている。

# まちづくりの

# 支援事業とは？

## 町長

## 広域的な組織の強化をはかる

【野口昌】 地域自主組織支援事業とは、旧小中学校区単位で、自主組織の育成をめざすものか。

【町長】 人口減少や高齢化のために、従来のように機能しない集落が出てきている。これを補完するシステムとして、より広域的な組織の強化をはかることが課題と認識している。

【野口昌】 組織は区長会の下部組織として設けるべきと思うが。

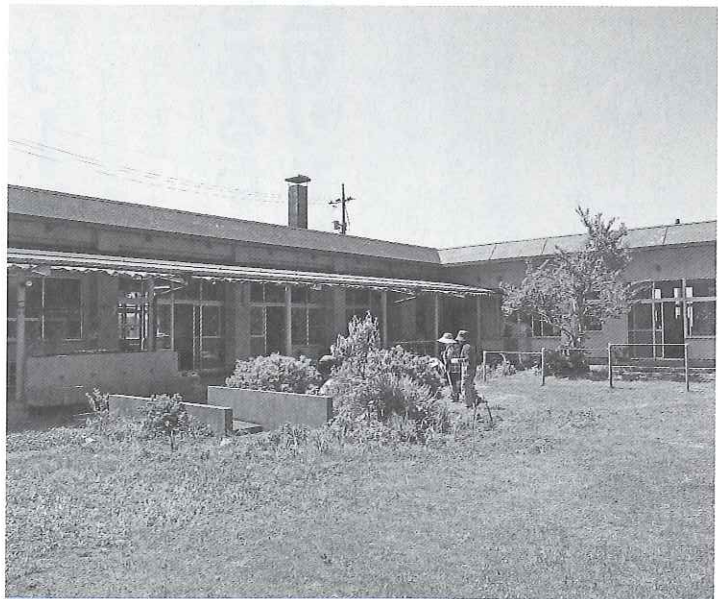
【町長】 委員は各集落から選出されていて、活動の状況などを報告されていると思う。「ふれあいの郷かあら山」では、区長を評議員と

位置づけている。

【野口昌】 高麗地区の地区会議は解散しているか。

【町長】 現在は、地域

自主組織「ふれあいの郷かあら山」に発展し、まちづくり地区会議という存在はない。



まちづくりの拠点になっている旧上中山保育所

# 下水道の整備は？

## 町長 可能だが費用がかかる



岩井 美保子 議員

【岩井】 公共下水道事業・集落排水事業は、平成18年度で完了し稼働しているが、花街道は合併処理浄化槽となっていない。

花街道は名和地区のメイン通りになる可能性がある。下水道事業など環境整備がされていない地域は取り残される。

整備するならば今ではないか。



花街道の下水道の終点

【町長】 名和インターチェンジ付近に、小学校・中学校・保育園を建設することによって、将来に向けて発展性のあるエリアに変わっていくという思いを持ちながら、取り組みを進めてきた。花街道線の山陰道の橋から北側は公共下水道に、南側は集落排水事業に接続できるが、費用がかかる。





大原 広巳 議員

# 人・農地プランの策定は？

町長 さらに推進する

【大原】現在の人・農地プランの策定状況は、

【町長】平成25年11月末現在で、160集落のうち12集落が策定している。そのなかで地域を中心となる経営体は4法人を含む17人で、その経営体への協力者は52人である。

【大原】策定が進まないのはなぜか。

【町長】他町と比べて認定農業者数も多く、すでに自主的に農地の集約が進んでいるためである。

【大原】近隣集落との連携は。

【町長】担い手のいない集落との複数連携プランもあり、推進していく。

【大原】今後はどのような事業を推進するのか。

【町長】県の農地集積バンクなどと連携していく。



収穫を待つブロッコリー

【大原】婚活事業の現状は。

【町長】平成24年度は、5団体が6回のイベントを行い、184人の参加であった。平成25年度は、11月末現在で2団体が2回のイベントを行い、30人の参加であった。

【大原】イベント実施が減った理由は。

【町長】企画立案のむずかしさや、カップルはできて結婚まで結びつかないなど、実績があらがないためである。

【大原】まちづくり地区会議などと連携してはどうか。

【町長】地区会議のなかに婚活部会などを組織し、若者が企画立案する

## 町長 婚活事業の今後は？

継続していく  
イベントも考える。そのなかで出会いがあれば、それもよい。今後も支援事業を続けていく。



さらなる出逢いの場を

# 山岳信仰サミットを開催しては？

町長 大山寺 1300年事業の参考に



近藤 大介 議員

【近藤】大山寺周辺の観光振興に、補助金など多額の投資を行っているが、十分な成果はあがっているか。現状と課題は。

【町長】地域間競争のため、支援なしでは、非常にきびしいのが現状である。旅館など施設の老朽化・後継者の問題・事業者の意識の問題など多くの課題をかかえている。

【近藤】観光事業を営む若手経営者や後継者を

【近藤】海外視察などを含め積極的な育成・支援策が必要ではないか。

【町長】平成25年度の視察事業では、やる気のある人を優先した。

【近藤】大山はかつて山岳信仰の聖地であった。エコツーリズムの推進に、日本山岳信仰サミット(仮称)を開催してはどうか。

【町長】平成30年に大山寺創建1300年を迎える。地元や県と取り組みの相談をする。



かつて修験道の修行場として栄えた大山

11月臨時会

## 企業誘致に向けて

平成25年第8回臨時会を11月22日に開きました。この臨時会では、企業誘致のため、旧大山電機跡地を町が取得する経費など、一般会計補正予算が提案され、全会一致で可決しました。

### 企業誘致事業

○旧大山電機の土地と建物を町が取得する  
**1億1035万円**



管公学生服機が進出

### その他の事業

補正した主な事業

○スクールバス購入  
「地域の元気臨時交付金」を活用し、2台購入する  
**751万円**

○名和地区拠点保育所建設  
造成工事費を増額する  
**2100万円**



名和地区拠点保育所



# 視察報告 北海道で学ぶ

視察日 平成25年10月15日～17日

視察地と内容

- 栗山町 「議会改革と議会基本条例」
- 三笠市 「小中一貫教育」と「小学校給食無料化」
- 東川町 「株主制度」と「子育て支援施策」
- 旭川市 「旭山動物園の取り組み」

議会改革の先進地である北海道栗山町などの視察を全議員で行いました。

## 議会基本条例を学ぶ 栗山町

地方自治体は二元代表制と機関対立主義にもとづき、議会は行政をチェックし、議案に対しては是非の態度でのぞむことが重要である。

時代に対応した議会改革に努め、真に「町民に開かれた議会づくり」に取り組み、その集大成として「栗山町議会基本条例」が制定された。



栗山町の議場を見学

特筆される点は、

- ① 政策形成過程資料提出の努力義務
  - ② 議員相互の自由討議の追加
  - ③ 政務活動費の導入
  - ④ 政治倫理の明記化
  - ⑤ 議会モニター設置
  - ⑥ 議会サポーターの導入
- などである。本町議会でも検討すべき課題の参考になった。

## 小中一貫教育の効果 三笠市

炭鉱の町として栄え、昭和32年には人口6万人あまりであったが、石油エネルギーへの転換によって、今は1万人を割った。高齢化率が高くなり、高齢者福祉対策にかたよって、少子化対策がおそろかになっていた。

平成17年度から小中一貫教育を実施して、中学3年生が小学4年生に英語を教えるユニークな授業もある。中学3年生では全員が英語が話せるよ



三笠市の教育を紹介する資料

うになっている。

「中1ギャップ」の解消、中学英語へのスムーズな接続、9年間かけ子どもを育てるという教員の意識改革など、多くの効果が生まれている。

さらに、中学校では元気や思いやり、そして自覚の向上、小学生は規律を守る意識が芽生え、いじめ・不登校の抑止効果も見られ、「まちづくりは人づくり」という意識が市全体に浸透していると感じた。

少子化が著しい本町でも、同様な課題である少子化対策に対し、抜本的な施策が求められるなか、三笠市を参考に検討したい。

## 株主制度でまちづくり 東川町

北海道のほぼ中央に位置し、大雪山国立公園区域が、町の一部にある。

「地理・自然・社会的にすばらしい条件を有する東川町が自立化の道を歩まないで、一体どこが自立できるのか」という声が多く、平成15年に合併しない道を選択した。

ふるさと納税を利用した「東川株主制度(1口10000円)」は、職員の発想から生まれ、東川町を応援する人が町へ投資(寄付)して株主になる。

株主には株主証が配られ、町外の人は特別町民に認定される。10口以上で町の特産品や町



あいさつする東川町長

内施設の利用料割引など、特典が受けられる。これまでの実績は、2067人で7056万円にもなる。

本町でも、ふるさと納税の募集のためのさまざまなアイデアを考え、積極的に取り組む姿勢が大切だと感じた。

## 動物園の取り組み 旭川市

お金をかけず、市職員の発想やアイデアで動物園の魅力を



動物園再建の説明を受ける

訴え、東京上野動物園の入場者数を上回ったという伝説の動物園、その秘密を探った。

旭山動物園は、従業員65人で、入園者数は平成15年で82万人、ピークの平成19年で300万人であったが、近年は160万人前後である。来園者の減少は、ブームが過ぎ、ほかの動物園が力を入れ競争がきびしくなったためである。

昨年より冬季に「雪明りの動物園」として、開園時間を延長

し、冬の夜の静けさや動物たちの息づかいを感じてもらおう催しも実施している。

ゆっくり落ち着いて見学できる環境が実現される現在の160万人前後の来園者数は、ピーク時からは減少したが、サービスの面からはマイナスではないとのことであった。

平成23年度は3800万円の黒字決算である。

事業の成功に向けて取り組む職員のアイデアと行動力、それを推進した行政の決断力などを参考にし、本町議会にも生かしたい。

## まとめ

今回の行政視察では、各地域の状況にあった特徴ある施策が講じられている。首長の強いリーダーシップと職員の事業への発想と熱意ある創意工夫そして行動力、それに対する議会の理解ある姿勢を強く感じた視察であった。これからの議会活動に生かしたい。(視察報告書は、議会ホームページに掲載しています)



# どうする開通後は

## 執井 討論会



本町議会では、町の進むべき方向や行政の課題などのテーマを設け、議員討論会を開催しています。  
 今回は、「山陰道開通後の大山町の活性化策」をテーマに、開通後のまちづくりのあり方を議論し合いました。  
 議論・意見し合った今回の内容を議員間でも共有し、これからの町の活性化策として、より具体的な政策提案につなげていかなければなりません。  
 議員の資質・能力向上の観点からも、議員討論会を今後も開催していきます。

### 活性化策は

【杉谷議員】山陰道沿いに看板をかかげ、なかやま温泉をPRすることで、町の活性化になるのではないかと。

【大杖議員】町には開山1300年を迎える大山寺や後醍醐天皇という重要な歴史がある。グルメを開発し、観光と連携して町内外に広める。

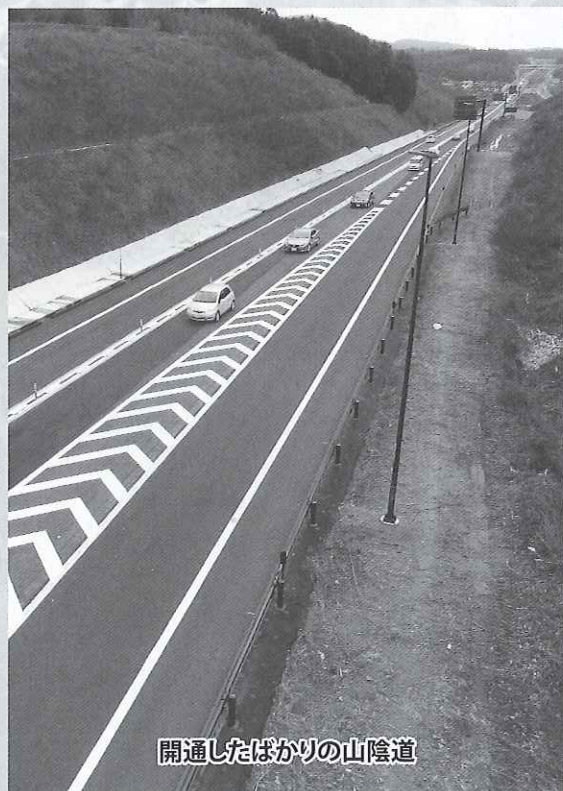
【遠藤議員】豆腐など田舎の味を求め、町内のそれぞれの地域を回ってもらうことで、観光客が増えるのではないかと。

【西尾議員】高齢化がますます進んでいくなかで、ゆったりと過ごせる環境を官民体で考えていく時代になった。

【西山議員】町のキャッチフレーズ「だいせん」の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり」を山陰道の開通にあわせ、検証するよい機会だ。

【岡田議員】大山寺と所子の伝統的建造物群や町内の遺跡などをつなげ、山陰道から観光客を呼びこんでどうか。また、企業誘致もしやすくなる。

【吉原議員】町に大山・名和・中山インターという三つの玄関口ができた。町が単なる通過点にならないように、訪ねてもらう仕かけが大切だ。



開通したばかりの山陰道

【大森議員】御来屋の町には古い町並みなど、観光地としての素材がたくさんあるので、道の駅で情報発信をしようか。

【野口議員】山陰道を通過する人たちが、降りてでも町を訪ねたくなる魅力のある政策を作っていくか。

【岡田議員】米子道から山陰道に物流の流れは完全に変わる。そのあたりを視野に入れ、今後のまちづくりをする必要がある。

【近藤議員】どうすればこの町で商売したいと思えるようになるのか。新しい投資が進むように環境を整える必要がある。

【岩井議員】以前のみくりや市は行列ができるほどの人が集まった。昔にぎわいをどう取りもどすかが課題だ。

【加藤議員】開通で、通勤時間は短くなる。今後、各インター周辺を中心にベッドタウン化に真剣に取り組む必要がある。

【米本議員】山陰道は観光道路として、鳥取方面から回ってくるバスが増える可能性もある。観光がまちの先導的役割を果たすようにお願いしたい。

### 町内の観光は

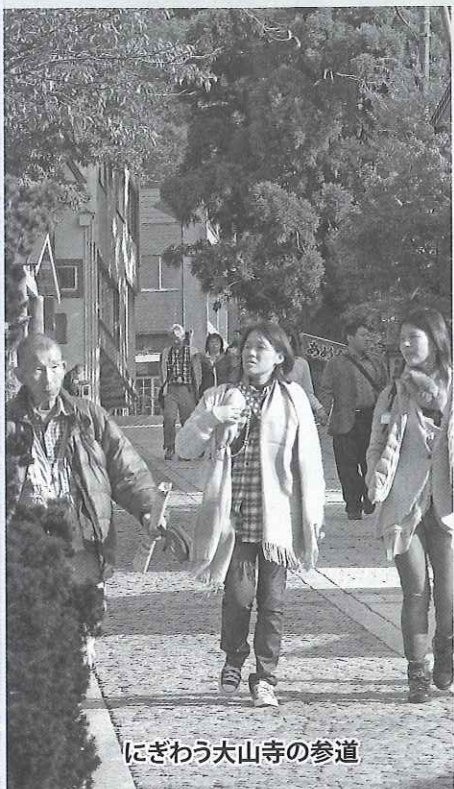
【杉谷議員】今の大山寺参道は閉まつている商店が多い。イベントをもつことによって、昔のにぎわいを取りもどすことが必要だ。

【遠藤議員】昔大山寺では三カ所の豆腐屋があった。昔からあったものを特産・名物にすれば大山を見る目も違ってくるのではないかと。

【野口議員】大山に来てもらうために、最も大切なことは宣伝だ。大山地域振興室ができ、宣伝に力を入れることができる。

【岡田議員】大山寺には奈良に負けない仏像の魅力がある。阿弥陀堂だけでなく、理観院の仏像など磨き切れていない資源をPRする必要がある。

【米本議員】大神山神社奥宮や



にぎわう大山寺の参道

### 産業の発展は

【大森議員】山陰道の開通によるマイナス面として、中山地区での9号線沿いの商店・食堂・石油スタンドなどへの影響がこれからはある。

【野口議員】山陰道の開通を機に、関西方面からの企業誘致に取り組んで成果があげれば、それに越したことはない。

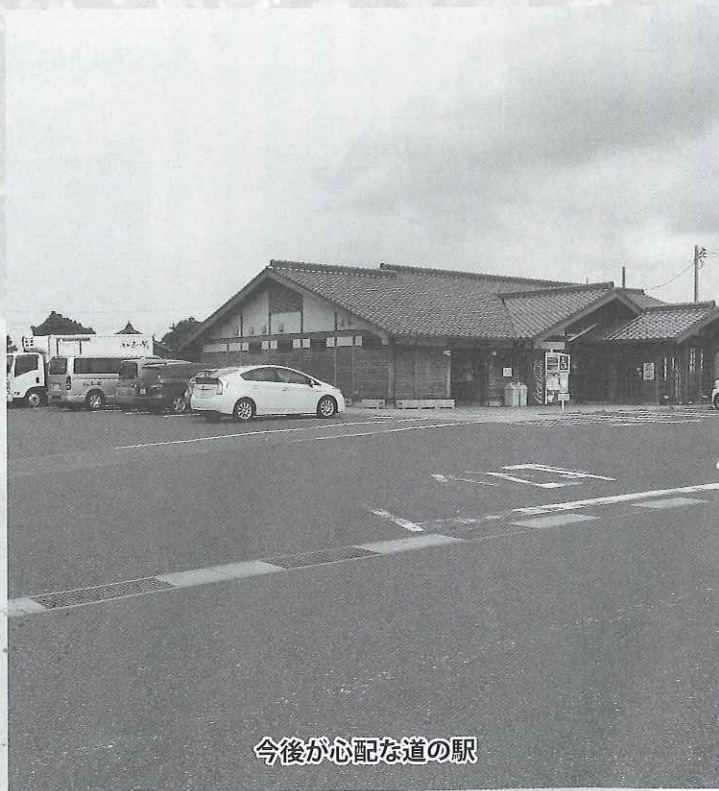
【西尾議員】近畿・中京とともに、これからは福岡・山口・新潟など環日本海をにらんだ企業誘致を展開してほしい。

【岡田議員】物流が変わり、新しい発想を持った人が出てくるだろう。今後何をすることも幅広い発想を持たないと無理ではないかと。

### どうする道の駅

【米本議員】「物産館ことら」では、野菜と鮮魚が同時に買える。しかも開通すれば10分ほどで行ける。車がそちらに流れるのではないかと。

【杉谷議員】本町の道の駅には特産品がない。海産物とか農産物、それらを使った2次加工品など、ここでしか買えないものを置くべきだ。



今後が心配な道の駅

【岩井議員】道の駅には花が少ない。町内には花の生産農家もある。米子まで行かなくても切り花が買えるようにしてどうか。

【近藤議員】町の活性化について、どうしたら具体的に実行ができるのか、議会で議論を重ね、行政に提案をする取り組みが必要ではないかと。

【加藤議員】みくりや市では物販をやめてカフェや飲食に、道の駅は物販に専念する。そういう思い切った方向転換が必要だ。

【野口議員】恵みの里ではソフトクリームが有名だ。「山陰道では、このものが一番おいしいんだ」というところまで作り上げる必要がある。

【吉原議員】カ月に二回程度、みくりや市やお魚センターに上がってきてもらって、「海幸山幸フェア」というイベントをしたらどうか。



# 地域のよりどころ

「ふれあいの郷かあら山」を訪ねて



人口減少や高齢化が進むなかで、地域住民の参画によるまちづくりをめざして、旧高麗保育所を利用し設立された「ふれあいの郷かあら山」取材しました。  
本町では、旧小学校区の10地区で、各集落から選出された委員で構成する「まちづくり地区会議」が、今後のまちづくりについて話し合いや活動を行ってきました。  
そのなかで、最も早く地域自主組織を立ち上げた高麗地区を取り上げます。  
谷野保人会長ほか執行部のみなさんに聞きました。

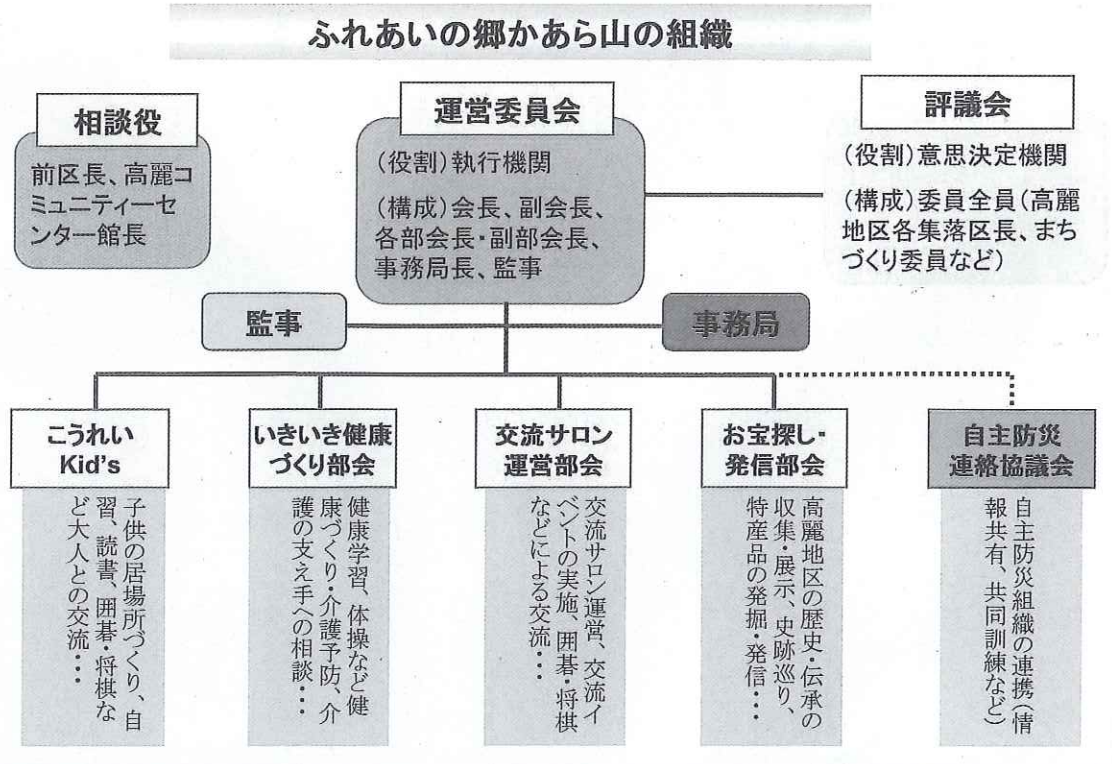
【議員】これまでの経過を教えてください。

【谷野会長】前身である「まちづくり高麗地区会議」では、平成23年6月の初会合以来、分科会など20回以上の会議を重ね、課題などのアンケート調査も行いました。  
「集落の参加なくして地区の活性化なし」との認識のもと、平成24年夏には全集落に「出張座談会」として意見交換に出向きました。さらに、地区区長会とも2回話し合いました。

こうした取り組みを重ねるなか、高麗保育所が統合によって閉所となり、旧保育所を拠点とした地域づくりの検討に入り、平成24年12月に地域自主組織として設立しました。

【議員】組織の概要はどうなっていますか。  
【田中委員】「評議会」で予算・決算・事業計画などの承認を行います。

【議員】今後の課題として何かありますか。  
【谷野会長】まだまだ地区住民に活動内容が知られていません。  
「気軽に立ち寄りやすい」「農作業の途中に下足でもお茶を飲みたがる」「など、多くの要望も出ています。裏庭にある遊具の撤去が終わったら、駐車場やテラスを開設し、建物外でもお茶を飲めるようにしたいです。  
こうれいコミュニケーションセンターとの事業連携や協力を推進したいです。  
【横川委員】イベントに参加を希望される、遠方の集落の人の交通アクセスを充実したいと思えます。  
【田中委員】地元野菜の直売所の開設を検討しています。  
津波・大雪・大雨など自然災害時に、避難場所や拠点施設として利用していきたいと思えます。そして、高麗地区自主防災組織をめざします。



もらって、「運営委員会」で具体的な取り組みを検討し決定します。そして、実際の活動は4つの「活動部会」が担っています。

敷コーナーもあります。定休日は、第2・第4水曜日になっています。



新メニューのボア(いのしし)パーガー

【横川委員】介護予防のため、毎週金曜日に、ボールやセラ



輪になって健康体操

【議員】4つの部会の活動はどうなっていますか。  
【こうれいkids】  
【谷野会長】放課後、大山西小学校の児童が読書や宿題ができる「学びの場」を設置しています。

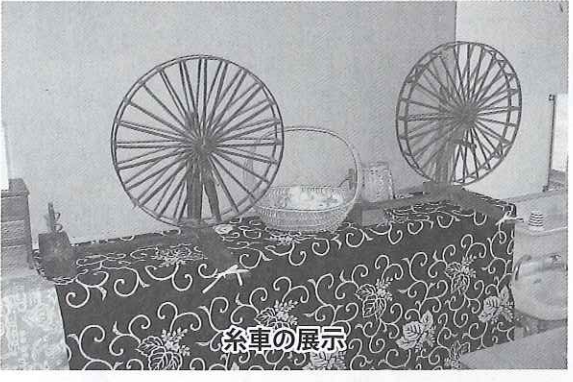


放課後を楽しく過ごす

【交流サロン運営部会】

【入澤委員】誰もが気軽に立ち寄り、お茶を飲んで話をしたりする交流の場を提供しています。お茶・紅茶・コーヒーなどが100円から利用できます。

囲碁・将棋などができる座



糸車の展示

【福見委員】地区の歴史文化伝承の収集・展示・史跡めぐり、特産物の発掘・発信などを行っています。  
今年、地域の人の特技を生かした作品展も行いました。

【議員】行政への要望はありますか。  
【谷野会長】広報紙の充実をはかり、地域外への情報発信もしていきたいです。  
【議員】行政への要望はありませんか。  
【谷野会長】住民の自主的な取り組みで、自助努力を基本として活動しますが、すべての活動をボランティアのみで行うのは困難です。  
高齢者の健康づくりから子育て支援活動など、幅広い「公共的活動」を展開していきたいので、今後も必要最低限の財政面の支援と人的支援をお願いしたいです。

**取材を終えて**  
住民参画によるまちづくりは、どこの地区でも検討されていますが、地域自主組織として取り組むのは、なかなかたいへんと感じました。先進事例である高麗地区の「ふれあいの郷かあら山」の今後の発展を見守りたいと思います。  
お問い合わせ先  
ふれあいの郷かあら山 0859-53-5277



# お・知・ら・せ

9月定例会後の議会活動をお知らせします。

## 広報常任委員会の勉強会

11月に新日本海新聞社西部本社、景山誠編集委員を講師に、広報委員勉強会を開催しました。文章の確かなまとめ方や記事の構成、写真撮影のポイントなど、基本から応用までを講義いただき、意見交換も行いました。

「議会だよりだいいせん」は町内全戸に配布していますが、「議会だより」は読まればベストセラー」という講師の言葉のとおり、みなさんの手にとってもう愛読していただけるよう、今後もよりよい紙面づくりに努めていきます。

## 議会改革の一環として

11月に鳥取大学の永山正男教授を講師に「議会基本条例の意義と議会の活性化」をテーマに講義していただきました。また、本町総務課職員を講師に、「本町の財政状況」について議員勉強会を行いました。

この議員勉強会は、議員の政策能力の向上や議会のあり方などを深く追求することを目的に、議会改革の取り組みのひとつとして、平成25年度から本町議会が独自に開催するものです。

今後も、時事や行政課題などを深く追求・認識し、政策立案のできる議員をめざしていきます。



永山教授の講演

## まだまだ視察に来庁

11月に伯耆町議会広報調査特別委員会が、本町議会インターネット配信の取り組みを、1月には香川県町村議会議長会の54人と徳島県勝浦町議会の6人が、「議会だよりだいいせん」の編集方法などを研修するために来庁されました。お互いに意見交換もし、有意義な研修になりました。

今後も全国各地から本町議会への視察が予定されています。



伯耆町議会が議場を見学

## 議場に来ませんか

議会の傍聴はどなたでもできますので、ぜひ議場で議員と町長のやり取りをご覧ください。開会中の議会はいつでもご覧いただけます。一般質問などの生の迫力を実感してください。

また、全員協議会や各委員会も公開しています。開催日時は議会事務局(電話0859-15415213)に問い合わせただくか、議会ホームページをご覧ください。

## 続けてほしい



中山会場

前回から名称を改め、好評だった「議員と語る会」の第2回目を11月に開催しました。初めて参加するという住民も交え、さまざまな内容で意見交換しました。

## 議員と語る会

### 意見・提言

行政への要望を聞く会になってしまわない工夫を

議員個人の考えを聞くテーマで意見交換を

若い世代の意見を聞く機会を

時間の制約のない土日の昼間に開催してほしい

一般質問・質疑など、議員の自己研さんを

### 行政に寄せられた要望と回答

- 要望** 防災マップは地域住民の意見を聞き作成し、周知徹底してほしい。  
**町長** 科学的根拠をもとに作成し、説明を希望する集落にも対応する。
- 要望** デマンドバスの問題点を検証すべきである。  
**町長** 乗降場所の見直しなど、制度的に可能な改善は随時行う。
- 要望** 山陰道開通後の道の駅はどうなるのか。  
**町長** 開通が前提の施設であり、引き続き情報発信拠点としていく。
- 要望** 税金などの徴収をしっかりとすべきである。  
**町長** 行政サービス制限条例議決の重みを受け止め、徴収に努める。
- 要望** 町長はもっと集落に出かけ、さまざまな問題解決をはかってほしい。  
**町長** 要望を受けての集落行政懇談会と出前座談会を行っている。
- 要望** 大山寺の阿弥陀如来像など重要文化財の保存対策をしてほしい。  
**町長** 所有者との調整のもと、修理などを行っている。
- 要望** 若者の結婚対策を推進してほしい。  
**町長** 今後も婚活イベントなどへの支援は継続していく。
- 要望** 高等教育を希望する困窮家庭に助成をしてほしい。  
**町長** 国・県の支援・奨学制度があり、独自の助成は考えていない。

行政への要望と回答の全文は議会ホームページをご覧ください。  
[www.daisen.jp/gikai/](http://www.daisen.jp/gikai/)

# 議員個人の考えが聞きたい

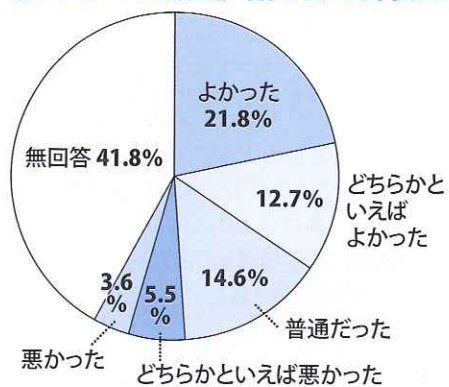
## 町民と議員とのやりとりの一例

「町民と議員とのやりとりの一例」

半数ずつ別々に視察するほうが効率的では。「議員」報告書では見えない部分もあり、同じ声や現場でも個々で感じ方も違う。効率より中身を大切にしたい。

参加者55人(前回56人)  
中山地区17人(前回(7月)18人)  
名和地区23人(前回(7月)14人)  
大山地区15人(前回(7月)24人)

### 【アンケート調査】語る会の評価は?





みんなのひろば

声



山下みや子 (ひかりが丘)

みくりや市感謝祭に  
参加して

青空の澄んだ11月16日(土)、11周年を迎えた御来屋駅の売店「みくりや市」で11周年感謝祭が行われた。私は会員になって今年で2年目。自分の作った作物を売る場所があるということは、作物を作る

者にとっては、喜びとなり、明日への希望となる。  
9時半。予想通り、たくさんの方が列をなして、豚汁を食べに来てくださった。それと並行して店にもたくさんの方が訪れてくださった。

海幸彦・山幸彦の着ぐるみも応援に駆けつけ、売り場は活気づいてきた。後日、確かめてみると、昨年の1.5倍の売り上げだったとか。  
「例年はない位、客単価(お客様が買い上げられた金額)も高くなり、お客様の満足度がうかがえます」と張り紙がしてあった。  
これからも、みくりや市にきてほしい。



下嶋和子 (坊領)

私、がんばっているつもり

私は退職後、七十歳まで生活習慣病による薬は飲まない、という健康目標を立てた。  
昔から医食同源(病氣予防は食事の注意が最善であり、根源は食に由来する)という言葉がある

る。その意義に従い健康維持に努めている。  
先頃、年寄り仲間7、8人で忘年会をした。会話中、少年時代よりスキーで鍛え、今尚、快活な彼は「俺はまだ薬は何も飲んでない」と言う。

「ひえ〜」と思った。彼は私より十歳年上、今年で八十歳になられる彼の言葉を聞き、私は第二の健康目標を「薬不要を八十歳まで延長」と改めた。  
私は病気にならないようがんばっているつもりだが、一方、この度、夫の後期高齢者保険料が加算になった。「なんでえ！健康保持に努力している者は少しぐらい還元してくれたいじゃないの」と思っ此の頃である。



圓田章三 (林之峯)

山陰道が開通して

昨年末に名和、赤碓間の山陰道が開通し、出雲から鳥取までが一気に直通して、いよいよ鳥取県にも「大自動車道時代」が到来した。  
これによる利便性の増大はますます言いつまでもないが、ただ忘れてなら

ないのは、それによって泣くものもあること。道路周辺の木々は命を奪われ、動物はすみかを追われ、朝鮮半島の分断のように生き別れも。また大きく報道されたナラ枯れの一因にも、私たちが豊かになればなるほど、

環境が劣化してゆくというジレンマ。今では進歩、開発、効率化が善とは言えない時代になってきている。特に地方では...。  
これからの時代を展望するとき、大切なのは「地方にあるゆたかりとした時間」であり、最大の財産になる。そうした時間の中で、あらゆる命を丁寧にはぐくむこと、それこそ真の豊かさであることに気づくだろう。

仁王堂公園からみた雪の大山

あとがき

議会だよりはありのままに伝えるべきだと思いますが、紙面の都合で割愛や要約され、本人の思いのすべてを伝えることができません。  
前号では最終日の討論で、議案7件に延べ20人、請願・陳情に7人の計27人が登壇しましたが、実際に掲載できたのはそのうちの18人です。

議会だよりでは文字数の制限があり、発言をした議員からも趣旨が伝わらないと指摘もあります。  
大山チャンネルやインターネットでの配信もしています  
が、一度、生の議会の雰囲気を感じてみませんか。

圓岡

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 米本 隆記

委員 圓岡 伸夫

委員 大杖 正彦

委員 大原 広巳

委員 加藤 紀之